

実業家で中国書画のコレクター林宗毅氏(1923~2006)から平成12年(2000年)に近代中国の書画411点が和泉市に寄贈されました。林氏による寄贈は当館にとどまらず、台湾の国立故宮博物院、東京国立博物館を入れて三ヶ所にのぼります。寄贈品は、中国唐時代から宋元時代までの書画は国立故宮博物院、宋元時代から清時代までは東京国立博物館、清時代から近現代までは当館というように館ごとの所蔵品内容を考慮して、寄贈する作品が活用しやすいように時代や内容を選別した寄贈である点に特徴があります。

当館では三十点余りしかなかったこのジャンルの作品が、豊富な画題を持ち、優れた完成度を示し、さらにまとまった点数で収蔵品に加わったことにより、当館のコレクションの規模が拡大しました。この寄贈によって、中国商(股)時代の

青銅器や清時代の陶磁器などからなる中国の古代から近世にわたる当館の工芸コレクションに、近代絵画によって新しい息吹が与えられることになりました。絵画や書は工芸とジャンルが異なるものの、広い視点で美術を捉えようと、工芸も書画も造形という同じ分野に取りまります。近代中国絵画は当館に古代から近代、それだけにとどまらず現代へと通じる造形の道も示しています。

林宗毅氏からの寄贈になる近代中国書画は、「定静堂コレクション」として、寄贈以来定期的に展示を続けてきました。寄贈から四半世紀を迎える時期にあたり、このコレクションの特徴でもある多くの画家による豊富な画題の作品から、49点を選び一部展示替えしながら陳列します。

定静堂コレクションの清々しく、華やかな作品をお楽しみください。



主な展示品

- 黄財松「林家花園図」(表面下)
- 王社為 行書「定静堂」(表面上)
- 江稼圃「秋高泉声図」(2)
- 王一亭「菊花瓦雀図」(4)
- 齐白石「柿實図」(5)
- 徐悲鴻「大鵬図」(1)
- 康赤子「牧猪図」(3)



スライドレクチャー

12月22日(日)、1月18日(土)
いずれも午後2時より、スライドを使った
展示解説を行います。(開場は午後1時30分)

ミュージアムコンサート

〔開場〕午後1時30分 〔開演〕午後2時(全日共通)
〔開催日〕12月8日(日)、14日(土)、15日(日)、21日(土)、1月11日(土)、12日(日)、19日(日)、25日(土)、26日(日)、2月1日(土)、2日(日)

スライドレクチャー、ミュージアムコンサートはいずれも久保恵ホール(音楽ホール)で行い、美術館に入館された方はご自由にお聴きいただけます。当日美術館入口で午後1時30分より入館しシートご提示の方に配付する整理券が必要です。なお、先着120名様で入場制限を行います。全席自由席。内容については美術館までお問い合わせください。

常設展「中国絵画の清華 魅力あふれる定静堂コレクション」は美術館・本館で開催します。新館では、古代の青銅器などの中国工芸品と、西洋近代美術を展示します。本館の展示とあわせてご覧いただけます。

和泉市久保物記念美術館

公式エックス/Instagramはこちら
展示会のお知らせ、見どころや作品紹介など、美術館のさまざまな情報を発信しています。



交通案内

●電車の場合

- ・東北高速鉄道「和泉中央」駅下車、南海バス①⑨乗り場より①「美術館前」「松尾寺」行、⑨「春木川」「若樫」行)乗車(約10分)、バス停「美術館前」下車すぐ
- ・JR阪和線「和泉府中」駅下車、南海バス②乗り場より「春木川」「若樫」行)乗車(約30分)、バス停「美術館前」下車すぐ
- ・南海本線「泉大津」駅下車、南海バス②乗り場より「春木川」「若樫」行)乗車(約40分)、バス停「美術館前」下車すぐ

●車の場合

- ・阪和自動車道「岸和田・和泉」インターより約3分(無料駐車場有)

美術館の入館料、図録・グッズの支払いに、現金決済に加えてクレジットカードや電子マネーなどキャッシュレス決済手続きが可能です。

【主な決済ブランド】

